



○ 平成25年6月 定例役員会

日時： 6月8日（土）午後1時～2時30分

場所： 中央公民館

午後3時から「雑学講座」が行われます。また午後5時から雑学講座の講師を囲んでの懇親会を「丸藤」で行います。是非とも多くの皆様のご出席をお願い致します。

○ 今年の「お花見会」は中止としました

4月7日に開催を予定していた「お花見会」でしたが、前日の定例役員会で、当日は風雨が強まるとの天気予報が出されていた為、全員一致で中止を決定しました。

役員以外で、昨年参加をされた会員の方々には、6日の夜事務局から電話にてその旨をご連絡しました。

○ 第82回雑学講座

日時： 平成25年6月8日（土）午後3時～4時30分

場所： 東村山市中央公民館3階リハーサル室

講師： 堀口 健治氏（早稲田大学昭和40年政経・東京大学農学博士）

前早稲田大学副総長、政治経済学術院名誉教授、政府関係審議会農政委員他、著書東畑記念賞『食料輸入大国への警鐘』他多数

演題： 『日本の食と農の未来』・・・《“スマフォ”と“大福帳”》

『食は国の礎』と言われます。資源小国・食糧輸入大国の日本にとって、世界の潮流が激しく揺れ動く中で、国際関係のもとでの我が国の食と農業の行く末は共通の関心事です。先生は『スマフォ』で原価を押さえた大規模経営を紹介しながら、日本農業の明日への改革と自然エネルギーの強みが発揮される農林業を説明されます。

（池田 孝 記）

☆ 他稲門会関係

6月2日（日） 西東京稲門会総会
小亀会長出席予定

6月9日（日） 国分寺稲門会40周年記念総会
大内副会長出席予定

☆ 野球部の高梨投手が六大学史上3人目の完全試合を達成

4月21日に行われた春季リーグ戦の対東大2回戦で高梨雄平投手（3年）（川越東高校出身）が六大学史上3人目となる完全試合を達成しました。今季のますますの活躍が期待されます。

“稲門祭の記念品販売に協力願います”

今年の稲門祭は10月20日（日）に開催されます。東村山稲門会からは、運営委員に大内副会長、実行委員に吉田勝幹事と野田直さんが選任され、4月11日には第1回の実行委員会が行われました。

今年のキャッチフレーズは、「早稲田のワ」です。母校を支える記念品販売に今年も是非協力をお願いします。

5月号のニュースにご案内のパンフレットを同封しました。申込は実行委員の吉田・野田さんまで。（連絡先 吉田勝 344-2978、野田直 315-8164）

第81回雑学講座報告



「日本の鉄道のおゆみ」

平成25年4月6日（土） 15:00～16:30

東村山 サンパルネ コンベンションホール

講師 工学博士 立松英信氏

一昨年 小金井稲門会の総会に出席した際、立松英信氏の「日本の鉄道技術史」の講演を聴く機会を得ました。私共が毎日利用している鉄道の技術のあゆみを、日本の世界に冠たる鉄道の発展に、自然の猛威、戦争等の苦難を乗り越え、先人たちが如何に努力と苦勞をして来たかのお話を伺い、感動し、今回東村山稲門会の雑学講座での講演をお願いしました。

講師 立松英信氏は S45年 早稲田大学理工学部、S47年 同大学院修士課程を修了、当時の日本国有鉄道に入社され、鉄道技術研究所、(財)鉄道総合技術研究所に於いて 鉄道の技術発展に努めて来られ、その後、(株)ジェイアール総研エンジニアリングの代表取締役を経て、現在 取締役相談役、そして 小金井稲門会 会員であります。

＊明治5年「汽笛一声新橋を・・・」で実用化された蒸気機関車の日本の鉄道は、まずは路線拡張の時代（土木工学）から始まり、約半世紀に全国に線路が敷かれていった。（明5～大11）この時代 機関車は全て輸入品であった。次の四半世紀に 車両の国産化時代（機械工学）到来（～昭22）。敗戦の中に立ち上がり、鉄道電化時代（電気工学）を迎え、続いて電子制御時代（電子・システム工学）と相まって、いよいよ鉄道は高速化の時代に入る。

この様な確実な総合技術発展の集大成が、現在のきめ細かな路線ネットワーク、そして超高速の新幹線大動脈を完成させた。昭和62年 国鉄は分割民営化されてJRが発足した。そして現在の鉄道全盛時代を迎えた。次には、時速 500kmのリニアモーターカー。昭和37年に研究が始まり、実用の目途が付いた段階で、これは 双発プロペラ機YS-11 とほぼ 同じ速度である。実用は 未だ先とは言え、飛行機に近づいてきた。

＊高密度の便利な鉄道網に欠かせないシステムに、「マルス」がある。いわゆる「みどりの窓口」システム。全国全駅を結び、複雑な乗り換えも処理し、臨時列車も臨機応援に処理し、正に世界的に見ても最大級の ネットワーク情報処理システムである。昭和35年に運用開始した。鉄道の情報化には、新幹線の運転制御システム、列車無線システム等があり、特に高速化を支える技術として 線路、車両と同様に重要な役割を担っている。

＊話は世界の鉄道事情、高速鉄道の国際的な路線拡大、高速化の熾烈な競争に及んだ。特にヨーロッパ、中国のように、人口が密集した高度経済エリアでは、高速鉄道が必須である。日本の高速鉄道技術の海外展開が期待されていると強く感じる。

＊鉄道に避けられない大敵は地震。兵庫県南部地震、東日本大地震等の具体的な被害損傷の実例を挙げて説明を頂いた。また 全国の新幹線網を中心に鉄道専用の地震探知システムの完備で、数秒の間に停車指令が送られる等、地震国ならではの安全システムが整備されつつある。

＊鉄道に求められる最大のテーマは、安全輸送である。高速化に伴い危機ポテンシャルはいやがうえにも大きくなっていく。高速鉄道の最も重要な技術は、輸送スピードを上げる事ではなく、いかに早く安全に停車させるかである。

この講演を拝聴し、私共の身近な鉄道に、一層理解と、愛着を感じました。

当日は悪天候にも拘わらず 東村山稲門会会員、市民の方々 60名の参加を頂きました。多謝。

（福田 昇七 記）



同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫 TEL 309-3407
阿部 茂 332-0298

今回は旧古河庭園、六義園を歩きます。申し込み等不要ですので、ご都合のつく方はお気軽にご参加ください。

第36回ウォーキング 「旧古河庭園、六義園」

バラの花咲く（見込みの）旧古河庭園とツツジの花咲く（見込みの）六義園を歩きます。

日時 : 5月26日（日）

集合場所と時間 : 東村山駅、西武新宿線乗り線ホームに9時集合（9時12分発急行）

コース : 高田馬場駅 → 上中里駅 → 旧古河庭園 → 六義園 → 巣鴨とげぬき地蔵 → 巣鴨駅
ゆっくり歩いて見学しても3時間くらいと思います。

その他 : 巣鴨駅付近で希望者で昼食をとりたいと思います。
空模様が怪しい場合は朝8時までに阿部までご連絡、ご確認ください。

（阿部 記）



第35回ウォーキング記 （3月24日）

前日までの天気予報に気をもまされたものの、当日は穏やかな春の日和に恵まれ、青梅線の日向和田駅をスタートし、古刹の明白院から多摩川の溪流沿いの臨川庭園に立ち寄り、コース中間の吉野梅郷は満開の梅の最後の見ごろで、山全体に咲き誇っていました。また清楚の白と、華麗なピンクの玄海つつじは写真の背景にも絶好の美しさでした。滅多にない環境のなかで昼食を取り、そこから吉川英治記念館への道をたどり、偉大な作家の膨大な著書群を見学して、かつて愛読していた若い時代を懐かしみました。最後は二俣尾駅に出て、帰路につきました。前日までの予報のせい、参加者は8人とやや少なめでした。

参加者：阿部・市川夫人・滝来（洋）・高橋・額田・山本・吉澤夫妻（敬称略）

（高橋 記）

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



4月例会は4月6日開催しました。先月と同様に4名の参加で少し寂しい一夜ではありましたが、皆さん大いに歌えると張り切りました。最近演歌の衰退から新曲のヒットが無く、覚える事が少なく我々には寂しい限りですが、なんとか盛り返して欲しいものです。

当夜の参加は井垣さん、石塚さん、高鷲さん、内藤の4名でした。これから夜遊びに適した季節になります。皆様のご参加をお待ち致します。

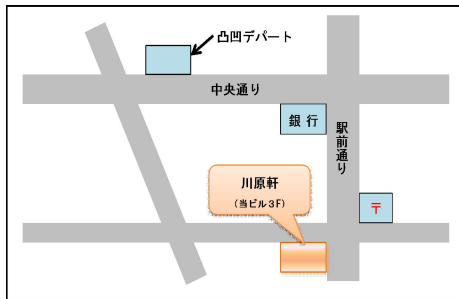
〈今後の予定〉

5月11日（土）カラオケ家 19時

5月より会場を変えたいと思います。カラオケ家は丸藤より1分。

パソコン同好会

世話人 小菅 宏 TEL 391-0219
福田 昇七 391-9726



Aクラスは「インターネットを楽しむ」を進行中です。「翻訳」の続きを勉強しました。「テキスト」の翻訳、「ホームページ」丸ごと翻訳する方法です。また、マックのクーポン券の入手をトライしました。引き続き、インターネットの楽しみ方を学びます。

Bクラスはワードの「図形」を勉強中です。「テキストボックス」「ワードアート」も完了して、「図形」の機能を使って「地図」を自分で作ることを勉強しています。

次は、「インターネット」「メール」の活用、「エクセル基礎」を計画しています。

当面の日程は、同好会等 短期予定表をご確認ください。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



第67回「稲酔会」俳句会は、4月27日(土)午後2時から「丸藤」2階で開催されました。

GW初日の暖かい昼過ぎに、定例会場に参集したのは、栗島三郎、井垣稲雀、幸田瑞雄、内藤慎、丸本北窓、山下波雲の6名。投句参加者は、出田麦穂、風間和夫、高部糸行、八木竜湖の4名。合計10名の兼題「暮の春」を含む近詠5句計50句を前にして、いつもながらの3時間半に及ぶ、清記・選句・合評をおこない、頭脳の活性化に励みました。

互選の結果最高点句には、

沖遠く暮春の船の動かざる 波 雲

が選ばれました。

句会のあとは、出席者6名全員が残っての懇親会食。今回もまた多岐に亘る話題に、楽しい2時間の宴となりました。

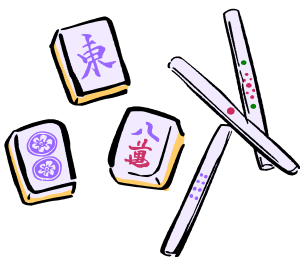
次回第68回「稲酔会」俳句会は、6月22日(土)「丸藤」2階で開催いたします。

兼題は「紫陽花」(七変化、てまりばな、よひら)です。

(稲雀 記)

麻雀同好会

世話人 阿部 茂 TEL 332-0298
池田 孝 395-9633



第60回記念大会を3月23日、麻雀サロン「園」にて実施しました。

久々の16名、4卓の盛況となりました。記念大会とあって賞品も(少しだけ)大盤振る舞い、また、国分寺支部からの応援参加よりの賞品差し入れ、滝川さんよりの賞品差し入れもあり、全員必死の形相で熱い戦いを繰り広げました。結果は、初の世話人を仰せつかった阿部がご祝儀で優勝させていただきました。熱戦の後、恒例の「丸藤」での懇親会では一転して和気藹々の熱戦談義に花が咲きました。

国分寺稲門会の皆様、いつもご協力ありがとうございます。

参加者： 阿部、池田、井手、小野、風間、小亀、小森、佐野、
清水(国分寺)、滝川、田口、土橋、當間、中川、
広田(国分寺)、松永(敬称略)

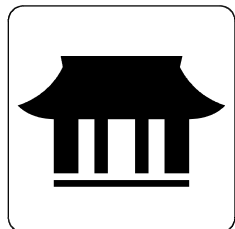
次回は6月を予定していますので、初めての方もお気軽にご参加ください。

(阿部 記)

郷土史の会

世話人 高橋 正夫 TEL 309-3407
阿部 茂 332-0298

テーマ : 「野口町、諏訪町の歴史見て歩き」



期日 : 6月7日(金)
集合時間と場所 : 東村山駅西口・駐車場の碑前に午前9時
コース : 化成小学校 → 諏訪神社 → ふるさと歴史館 → 徳蔵寺 →
北山公園 → 正福寺 → 大善院 → 弁天池 → 猿田彦神社 →
東村山駅西口

配布資料により、東村山を再発見しながら歩いてみませんか。
ふるさと歴史館では学芸員から常設展示場で説明をしていただきます。
昼食のお店は考慮中です。なお、天気の悪い場合は、午前8時までに阿部に
ご確認ください。

(阿部 記)

郷土史の会記(4月19日)

久しぶりの再開となったが、曇り空ながら大勢の参加者が東村山駅前に集まり、江藤さんの準備した資料を配り、案内されたコースに従って、懇切丁寧な説明を受けて久米川町の歴史を知る機会となりました。ふだん何気なく通り過ぎている道筋に貴重な歴史が隠されていたことを認識し、あらためて郷土への愛着を強く持ちました。鎌倉古街道の跡や、日蓮上人にまつわる旧跡、さらに地元の神社の歴史など興味深いものでした。ゴールは東村山西口の「駐車場の碑」となりました。資料に興味ある方は高橋宛ご連絡ください。コピーを差し上げます。

近くのさがみで昼食を一緒にとって、散会となりました。
参加者：青山・阿部・江藤・大内・小亀夫妻・高橋文子夫妻・高橋(正)・滝川(桜)・滝来(洋)・
土橋・當間・戸田・豊田・額田・山本・吉澤(雅) 以上18名(敬称略)

(高橋 記)

早稲田スポーツを応援する会 世話人 大内 一男 TEL 393-6543

春の早慶戦(6月1日)のお誘い



第7回早稲田スポーツを応援する会例会

2013年東京六大学野球春季リーグの対東大戦2回戦で早稲田の3年生左腕高梨雄平君(川越東高校出身)が完全試合を達成いたしました。リーグ史上3人目、早稲田勢初の快挙です。

今シーズン早稲田の戦力として先発陣は150キロを超える速球が武器の有原、完全試合達成の高梨、昨年7勝を挙げた吉永、リリーフにはリーグ戦12試合連続無失点の横山、リーグ戦初登板から9試合連続無失点の早実出身の内田と投手陣は盤石です。三冠王の杉山、攻守の要だった捕手地引が抜けた穴をどうカバーできるかの打撃陣が課題ですが、幸先よいスタートに期待しましょう。

日時 : 6月1日(土)
集合時間 : 11:00
集合場所 : 神宮球場3番ゲイト応援席入り口前
チケット代 : 応援席=500円(応援席では必ず応援部の指示に従い応援合戦に加わって下さい。)
雨天中止 : 問い合わせは当日午前7時より世話人まで。
懇親会有 : 於 新宿「うおや一丁」西東京・小平稲門会様合同
予算3,000円~4,000円
申込期限 : 5月15日(水)チケット確保のため期限厳守の上、下記世話人までお申し込み下さい。懇親会参加の有無も合わせてご連絡下さい。

☆世話人 小亀 輝雄 (394-6951)
大内 一男 (ohuchi6_7kzytmsk@aurora.ocn.ne.jp)
(090-4836-5886)

第6回早稲田スポーツを応援する会記（4月21日早慶レガッタ）

伝統のボートレース、第82回早慶レガッタは21日雨まじりの季節外れの寒さの中、隅田川で開催されました。午後のメイン対校エイト発艇の頃は雨も上がりやや寒さも和らぎました。勝負は慶大が13分53秒68で早大（14分17秒37）に23秒69の差をつけ昨年に引き続き勝利しました。通算は早大の44勝37敗、同着1。

スタート直後は早稲田がリードしましたが、すぐに慶應に追いつかれ、再度引き離しにかかるも、慶應にとらえられました。

慶應がそのまま先行し、徐々に差を広げていき、最終的には7艇身の大差で勝利しました。

対校エイトの距離は6000メートルだった時期もありますが、水面のコンディションなどを考慮して徐々に短縮されてきました。昨年3000メートルだったコースは、今回レースの醍醐味を増やすため新大橋先スタート（昨年は両国橋先）の桜橋先ゴールと750メートル延長され3750メートルのコースで争われました。

今年特筆すべきは我東村山稲門会会員の市川暢男さんが上記のメインレース直前に組まれていた早慶OBエイト（言問橋スタート桜橋ゴール 距離500メートル）に出場され見事慶應に勝利されたことです。コックス（舵手）の前に位置する漕ぎ手の要としてリズムを作り出すストロークという重要なポジションを任せられておられ、川岸から「市川さんおめでとうございます！」と呼びかけると手を振って応えてくれました。

東村山稲門会「早稲田スポーツを応援する会」からの参加者は青山さんと私の2名でやや寂しかったのですが、昨年通り今年も「西東京ワセスポを愛する会」代表の竹島さん始め5名、小平稲門会伊藤会長始め4名の11名での合同応援団となりました。

12時半雷門に集合した頃は未だ小雨まじりの冷たい風が身にしみ、皆様これから隅田川の川岸で4時間も過ごすのはちょっときついなーと内心想っていました。皆で諮った結果、浅草寺・伝法院通り先の浅草らしい雰囲気醸し出している庶民的な居酒屋でメインレース間近まで避難しようということになり牛筋や牛もつ煮込みを肴に日中からの飲み会となりました。レース後のアサヒビール、フラムドールでの懇親会も予定通り実施され盛り上がりしました。皆様の協力のもと悪天候に柔軟に対応し、早慶レガッタが作ってくれた機会はお酒とビールと肴を媒介に、お隣同志の3つの稲門会が楽しく情報交換（おしゃべり）に興じ、懇親を深めた会になったのではないかと振り返っております。

参加者： 青山 稔 大内 一男

西東京ワセスポを愛する会 5名 小平稲門会 4名 計 11名

（大内 一男 記）



レース後手を振って応える市川さん



鎌田総長からのエール

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



4月17日（水）に予定されていた例会は、強風のために中止となり、さらに4月21日（日）の予備日も、前夜来の雨で中止となりました。

これで、3月に続き連続の休会で、最近では例を見ないことです。

同好会の皆さんがやる気をなくしてしまうのではないかと心配ですが、来月は五月晴れとなることを祈るばかりです。



「多文化共生の街づくり」を目指す 東村山地球市民クラブ

倉田 哲也（S36年 理工）

最近 多文化共生という言葉を見かける事が多くなりましたが、平成18年3月総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書」中で、多文化共生とは国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことと記されて居ります。

現在東村山市に於いては多文化共生推進プラン策定を学識経験者、市民代表、市内国際交流3団体代表（国際友好協会、日中友好協会、地球市民クラブ）により進められて居ります。また市内に居住されている外国籍の方は現在約64ヵ国、約2100名と報告されて居ります。

東村山地球市民クラブ（1997年設立）は外国籍住民の方と一緒に「多文化共生の街づくり」を活動の柱に据え、東村山市と協同して多くの事業を展開して居ります。多文化共生と関係が深い地球市民クラブ活動内容の一部を紹介させて頂きます。

外国籍の方に日本語教室を毎週水曜日午前及び夜間、土曜日午前、週3回開催して居ります。当教室の特長は学習者1名に対しスタッフ1名のマン・ツー・マン方式で学習者のレベルに合わせ授業を行って居ります。また教室の入会、退会日時は自由で学習者の便宜を図っています。

また市のバスを利用して日本文化研修会を行って居ります。昨年は富士山麓散策の折、最初に東村山市山の家白州を訪問し施設利用方法等説明しました。また市のバスを利用して立川防災館等を見学し防災研修会を行っています。特に震災の経験がない外国籍の方には良い訓練となりました。さらに外国人のためのリレー専門家無料相談会（法律相談など）を東京都の支援を受け東村山市と共催で開催しています。年々多くの相談者が来訪され、いろいろな相談を受けて居ります。

また外国籍の方に講師をお願いして、市内の小・中学校にて国際理解授業を実施して居ります。講師のお国の文化、衣食住、特色などの紹介して頂き、若い世代の子供たちに正しく諸外国の知識を得て頂く様に努めています。

また外国籍の方と一緒にそれぞれの国の文化を紹介し合い、交流を深めるためにグローバルパーティーを開催して居ります。それぞれのお国のお料理、民族衣装、舞踊、音楽等ご披露頂き親交を深めて居ります。

韓国語講座は年間を前期、後期に分け、いずれの期も毎週木曜日夜に入門、初級、会話のコースを設けて開催して居ります。東村山市の震災・災害等発生時には通訳ボランティアとして活躍できる様に準備しています。

以上東村山地球市民クラブの活動内容を説明させて頂きましたが「多文化共生の街づくり」を推進するためには、まだまだ当スタッフは不足して居り、十分な事業が出来て居りません。優秀な方々がいらっしゃる東村山稲門会の皆様のご指導、ご支援を頂ければ幸いです。

以上

同好会等 短期予定表

同好会・行事	5月					6月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	26	日	9:00	東村山駅上りホーム		—	—	—	—		高橋正 042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		7	金	9:00	東村山駅西口		高橋正 042-309-3407
テニス同好会	8	水	13:00～15:00	久米川コート4		15	土	9:00～11:00	運動公園A		田島 042-396-7676
	15	水	13:00～15:00	久米川コート4	予備日	19	水	13:00～15:00	久米川コート4	予備日	
囲碁同好会	—	—	—	—		15	土	13:00～	市民センター別館		高鷺 042-394-2336
カラオケ同好会	11	土	19:00～	カラオケ家		8	土	19:00～	カラオケ家		内藤 042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		—	—	—	—		當摩 042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		23	日	12:30～	サロン「園」		阿部 042-332-0298
音楽同好会	27	月	13:30～	市民センター第4会議室		—	—	—	—		市川 042-308-8181
俳句同好会	—	—	—	—		22	土	14:00～	「丸藤」2階		井垣 04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		石川 042-394-4702
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		1	土	11:00～16:00	神宮球場	早慶戦	大内 042-393-6543
パソコン同好会	11	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	8	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅 042-391-0219
	25	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	22	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	
	25	土	15:00～16:00	シルバー人材センター	相談会	22	土	15:00～16:00	シルバー人材センター	相談会	
雑学講座	—	—	—	—		8	土	15:00～16:30	中央公民館		當間 042-391-6023

— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。

編集局だより



○恒例の行事のお花見会、今年は中止となりました。東日本大震災の直後ということで2年前も中止でしたが、今年は天候によるものでしたね。3月から4月にかけて今年の天気はなんだか変と思うことがたくさんありました。3月は暖かくて例年より2週間近くも早くソメイヨシノが開花しました。でも寒暖の差も激しく花冷えというより真冬のような寒さの時も。日によって最高気温が10度近く上下すると一体何を着たら良いのか困りものでした。厚着をして暑さを我慢するのか、薄着で寒さを我慢するのか。そして地震が多かった。大震災から2年経ちここらでもう一度防災意識を高めなくてはと思っていた矢先の地震でした。また風の強い日も多かったです。春一番から始まって春の嵐、爆弾低気圧などなど、特出していました。これからは爽やかな薫風、五月晴れを期待したいものです。

○次号の原稿締め切りは5月24日（金）です。よろしくお願いいたします。（中村）
fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

沖遠く暮春の船の動かざる 山下 波雲
 暮れ春や遅れがちなる鳩時計 粟島 三郎
 ひとり居に佳き日いくつか暮の春 井垣 稻雀
 たんぽぽの小隅に生きるど根性 出田 麦穂
 逝く春や骨壺に坐すのどぼとけ マドンナの眩しきまに卒業す
 陽炎や人なき村を包み立つ 土台のみ残る更地を春の雷 風間 和夫
 ママよりも少し先行く入園児 桜餅添えし宴席春の色 菊田 一平
 胴長の胴をもこもこ浅蜷採り 飛行機の影をおほきく浅蜷桶 幸田 瑞雄
 故郷のにぎはい偲ぶ灌仏会 こでまりを滝造りにして春惜しむ 小亀 稻生
 雛納め兜飾りて孫を待つ 薫風や百年刻む時計台 高部 糸行
 長閑なり写生する人覗く人 山麗ら行き交う娘らに氣をもらう 内藤 慎
 散り乱れなおあざやかに花筏 伝え来し花寿司にぎり里の春 丸本 北窓
 道祖神不沙汰かこちて暮の春 ひとり身のわれを仲間へ 八木 竜湖
 はなびらのひひらひひらひひら 黙々と男自慢の木の芽和へ